

三送会 2月17日3年生を送る会を実施しました。生徒会主催で行われ、3年生が北校舎から中庭へ入場、1・2年生が拍手で迎えました。生徒会代表者からの挨拶と前生徒会長の言葉があり、「出発(たびだち)」(卒業生の言葉や先生方、部活動毎の言葉などが掲載された文集)の贈呈もありました。こういった行事はとても大事です。お互いの成長を確認したり、振り返りをしたりできる絶好のチャンスですから、これからも継続して、思いを繋げていきましょう。



第78回神港学園高等学校卒業式 2月18日は第78回神港学園高等学校卒業式でした。中庭には写真

を撮れるように、書道部が思いのこもった作品を体育館の壁面に掛けてくれました。また東校舎には横断幕が貼られ、学校全体での祝福ムードの中、卒業式は始まりました。(ご家族の方もたくさんお見えになり、卒業生の晴れ姿を見ていただけただけようです。)



私からの式辞では、101年目のスタートとして頑張ってくれた運動部への感謝と学校行事での盛り上げについて話を進め、「正直に自分の無知を認めることが大切だ。そうすれば、必ず熱心に教えてくれる人が現れる」というウォルトディズニーの残した名言と「二兎を追うものだけが二兎を得られる」と言う言葉を紹介しました。少しわかったからといって大きな顔をしていると誰も教えてくれませんが、自分から謙虚に向き合い続けることで周りが教えてくれ良いものが生み出せる環境になるという考え方です。もう一つは「二兎を追うもの一兎も得ず」の諺から二つのものを欲張ると一つも得られなくなるから一つのこと集中せよと言う考えもありますが、二つのものを得ようとする最初から覚悟を持って追いかけないと得ることはできないという考え方もできるわけで、チャレンジすることを諦めないということを神港学園では学んできたはずなので人生においてもその姿勢をやり通してほしいとの思いで式辞を述べました。また、理事長は「真実かどうかを考える」「公平かどうかを考える」といった当たり前のことではありますが、昨今のSNSによる情報の真偽を判断する力を身につける大事さを話されました。同窓会長は、哲学者パスカルの「人間は考える葦である」という言葉を用いられ、葦という植物は人間と同じく弱いものであるが、人間は考える力を持っており、それが最大の能力であるということから、「考える」姿勢が大事であるということを話されました。いずれも、旅立ちにあたり「考えて行動する」ということを強調されました。また、在校生の送辞では先輩方の姿勢や背中を見て自分たちの頑張りに繋げていく話を、卒業生の答辞では部活動や学校行事への思い、さらには家族への感謝の気持ちを話してくれ、自らの経験に基づいた重みのある内容でした。卒業記念品として自動身長体重計を贈っていただきました。自分の体調管理をする上で貴重な記念品で、大変有り難く思っています。最後には保護者からのお礼の言葉もいただき、厳かな式を終えることができました。

来賓の皆様からも「とても良い式でした」と言っていただきました。78回生卒業に当たり、学年の先生方はじめ関わっていただいた教職員の皆様、ありがとうございました。またご家族の皆様、ご卒業おめでとうございます。右の写真は、華道部卒業生の作品と校長室にいつも飾っていただける花です。ありがとうございました。



専願合格者招集 2月21日先日の入試において専願で合格された方への諸手続、物品販売がありました。部活動推薦入学者は全体で心構えの話を聞いた後、各部の説明を聞いていただき、入学まで備えていただくことになっています。



硬式野球部創部100周年式典 硬式野球部の創部100周年記念式典に参加させていただきました。歴代の監督、部長、卒業生など100名を超える方々が集まり、歴史を振り返りながらの楽しい式典でした。野球部の今後さらなる飛躍を期待したいと思います。

